

平成29年度 各会計補正予算等の 審査

補正予算12件、条例等4件の計16件について、各常任委員会で審査された主な質疑・答弁等は次のとおりです。

総務市民委員会

●財政調整基金額の目安は

委員 29年度末の残高見込みが44億円余とのことですが、基金額に国の基準や指導はありますか。

当局 目的がある基金ではないため、積み立て基準や目標額の設定はなく、国の基準や指導もありません。市としては標準財政規模の1割を目安としており、50億円程度あれば、災害時などに対応できると考えています。

委員 市民の安全・安心のための財政調整基金ではありませんが、施策とのバランスを考えたうえで積み立てを行ってください。

●個人情報漏えいの再発防止に向けて

委員 個人情報の漏えいを受け、原因分析や再発防止策について、指定管理者候補者とヒアリングを行ったとのことですが、どのような対策が聞かれましたか。

当局 情報提供に関する申請書及びチェックシートを作成し、使用と管理の徹底を図ることや、個人情報保護に関する基本方針や規程の整備のほか、個人情報保護に関する職員研修を実施することです。また、市でも、基本方針や規程に基づいた運営を行うよう指導に努めていきます。

文教民生委員会

●就学中の障害児療育を支える体制は

委員 就学中の障害児が通所する放課後等デイサービスの利用者数がふえているとのことですが、障害児の療育を支える体制をどのように考えていますか。

当局 放課後等デイサービスを希望する保護者の増加により利用児童がふえています。加えて、放課後児童クラブでも障害児の受け入れを行っているため、合同で研修を行うなど、利用児童に応じた良質

な支援を提供できるように、連携体制を整えていきます。

●中央病院医師の勤務状況改善の取り組みは

委員 中央病院医師の時間外勤務が過大になっていますが、勤務状況の改善に向け、どのように取り組んでいますか。

当局 件数の増加と医療の高度化により手術時間が増加傾向にあることで、午前の外来診療の後、午後に開始した手術が午後5時を超えることが過大な時間外勤務の要因の1つと考えます。そのため、午前中の手術室の活用検討や、各診療科部長とのヒアリングの際に時間外勤務削減に向けた配慮を求めるなどの取り組みを行っています。

環境経済委員会

●農地集積の進捗状況は

委員 富士東部土地改良区の農地集積が進捗し、交付基準に達したことにより、地域集積協力を270万円余増額することですが、当初計画よりも早く集積が進んだ要因は何ですか。

当局 富士東部土地改良区を重点地区と定め、県・市・農協が一体となって取り組んだ結果、早期の集積につながりました。今後は農地利用最適化推進委員の活動を活性化

せて、浮島地区や大淵地区の茶園の集積など、取り組みを市内全域に広げていきたいと考えています。

●大淵笹場の整備計画は

委員 事業の主体である県が、大淵笹場の駐車場・トイレ・休憩施設等の整備を次年度に見送ったとのことですが、見送った理由と今後の見通しはどのようになっていますか。

当局 予定していた用地取得に時間を要したことや、実施設計に地元の意見を取り入れ、変更を行ったことにより、29年度中の整備が困難となりましたが、本事業は県も注力して取り組みたい意向があるとのこと、30年度、31年度の2カ年で整備を行う計画と伺っています。

建設水道委員会

●工事発注の平準化に向けて積極的な取り組みを

委員 債務負担行為を活用し、30年度に予定している事業を29年度内に発注する取り組みを試験的に行うとのこと、これにより、工事発注にかかる設計、契約、検査等の平準化を図るとともに、受注者側には受注量の減少する年度当初の受注機会が拡大するメリットがあるとのことなので、今後も積極的に取り組んでくだ

さい。

●富士と港の見える公園整備事業におくれ

委員 富士と港の見える公園整備事業は、年度内の完成が見込めないため1825万円を繰り越すとのことですが、受注者側の見込みが甘かったと思えますが、どのように考えていますか。

当局 工事の積算に当たり、見積もりを徴取した時点では資材等の確保はできると判断し、昨年11月上旬に契約を行いました。しかし、その後の報道等では、東日本大震災の復興事業に加え、東京オリンピックの建設工事が本格的に始まったことから、資材や人員の確保が困難になると言われており、こうした社会情勢を踏まえると、繰り越しはやむを得ないと考えています。



富士と港の見える公園展望台(完成イメージ)